

# 普通科高校における「スキルアップ推進校」指定制度の創設

事業種別 委託（民間事業者）  
R5年度予算額 486百万円  
事業開始年度 令和5年度

- ▶ 都内公立中学校等卒業者の高等学校等への進学率は98.53%に達しており、高校には多様な入学動機や進路希望、学習経験など様々な背景を持つ生徒が在籍している。
- ▶ 特に普通科においては大学への入学や就職等の高等学校の出口のみを目標とした学習ではなく、卒業後の大学等において学びを深めたり実社会で様々な課題に接したりする際に必要となる力を身につける必要がある。
- ▶ 進路が多様である普通科高校において新たに「スキルアップ推進校」の指定制度を創設し、民間事業者を活用し、社会的実践力を持つ次代の東京を担う人材を育成する。

## 社会的背景

## 必要なスキル

## 事業内容（夏季休業・土日（午前午後）、放課後に開講）

グローバル化の  
進展と英語力不足

E F 英語能力指数  
ランキング  
世界78位/112か国  
(2021年)

英語力

デジタル人材不足

デジタルスキル  
を持った人材の  
割合  
世界62位/64か国  
(2021年)

デジタル  
リテラシー

コミュニケーション  
能力の重要性

企業が新卒採用に  
求める能力 1位

日本経済団体連合会調査  
2018年 連続16年1位  
2019～2020年 非実施  
2021年 1位

ビジネス  
コミュニケーション  
スキル



スキルアップ  
推進校指定

(15校)

大森 深沢  
田柄 光丘  
青井 多摩  
野津田  
武蔵村山  
羽村  
五日市  
板橋有徳  
蒲田  
足立東  
東村山  
秋留台

### ① グローバルスキル講座（実用英語検定講座）

予算額 13千円×270人×15校 = 52,650千円  
(4級:50人 3級:100人 準2級:100人 2級:20人)

- ・英語指導塾による校内講座実施
- ・卒業までに2級合格を目標
- ・4級～2級まで生徒に合わせて開講



英検 2級  
合格

### ② デジタルスキル講座

予算額 14千円×720人×15校 = 151,200千円

- ・PC教室業者による校内講座実施
- ・Word, Excel, Powerpointの基礎スキル学習
- ・MOS検定講座も実施
- ・オンラインツール・ローコード開発



MOS  
検定合格

ローコード・ノーコード  
開発講座  
(教育政策課実施)

### ③ 職場体験を通じた企業人とのコミュニケーションスキル講座

予算額 18,769千円 (3日間×100人) × 15校 = 281,535千円

- ・生徒個人が職場体験先を選択
- ・1学年～3学年の3年間で計3業種を体験
- ・民間事業者によりマッチング



1学年3日間  
A業界

2学年3日間  
B業界

3学年3日間  
C業界

次代の東京を担う人材の育成